

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2020 年 4 月 1 日作成 第 1.0 版

研究課題名	胃癌における予後規定因子の検討
研究の対象	1992 年 1 月から 2015 年 12 月までに、当院および横浜市立大学附属病院、横浜市立市民病院外科において、外科切除を受けた胃癌症例
研究目的 ・方法	外科手術を受けた胃癌の患者さんにおける病理学的因子、免疫栄養学的因子、次元学的因子が予後に関連するかどうかを明らかにします。データは、過去の診療録から収集し、新たに収集することはありません。
研究期間	西暦 2020 年 7 月 9 日 ~ 西暦 2021 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の 種類	<p>日常診療で実施された項目を本研究に使用します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 患者基本情報：年齢、性別、診断名、身長、体重、既往歴、臨床病期 2) 血液検査 3) 治療内容（術式、手術アプローチ） 4) 病理学的所見（壁深達度、リンパ節転移、癌占拠部位、周在性、肉眼型、脈管侵襲） 5) 治療効果（術後合併症、全生存期間、無再発生存期間、再発形式、死亡原因） 6) 予後（予後規定因子；腫瘍径、腫瘍面積、腫瘍容積、癌占拠部位、肉眼型、壁深達度、リンパ節転移、脈管侵襲、modified Glasgow prognostic score: GPS, Neutrophil-lymphocyte ratio: NLR, Prognostic nutritional index: PNI)
外部への 試料・情報の 提供	該当しません
外部からの 試料・情報の 取得と保管	<p>共同研究施設から、匿名化されたデータを外部に漏えいしないよう十分な安全管理を行いながら授受し、横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター 外科 医局内のコンピューター内でデータベース化します。また、パスワードをかけ、厳重に保管します。</p> <p>少なくとも本研究の終了日から 5 年後又は本研究の結果の最終の公表について報告した日から 3 年後のいずれかの遅い日までの期間、厳重に保管します。</p> <p>保存期間が終了後廃棄する際は、電子媒体で保存している情報については保存しているコンピューター端末等から復元不可能な形で消去し、紙媒体で保管している情報はシュレッダーにて廃棄します。</p>

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

研究組織	代表施設： 横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター 外科 責任者 國崎 主税 共同施設： 横浜市立大学 医学研究科 消化器腫瘍外科学 責任者 秋山 浩利 横浜市立市民病院 外科 高橋 正純
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 消化器病センター 外科（研究責任者）國崎 主税 電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-261-9492</p>	